

カスタマイズしよう、働く精神障害者の合理的配慮

リカバリー隊が解説書

精神障害者が働くために必要な合理的配慮について研究している「リカバリーキャラバン隊」はこのほど、求職者と事業主のニーズに合った雇用条件を話し合う「カスタマイズ就労」についての報告書をまとめた。カスタマイズ就労とは、求職者の興味と事業主のニーズの双方を満たすよう、デザインするもの。例えば、既存の職務をシェアすることや、職場で新たな仕事を創出することなどがある。

報告書は、カスタマイズ就労に取り組むにあたり、求職者のストレングス（強み）の把握の仕方や、プランの作成、事業主とのマッチングについての方

法を解説している。

また、就労支援機関を対象にしたアンケート結果についても掲載。精神疾患のあるヘルパーが勤務できるよう勤務日数を減らしたり、福祉施設での掃除の仕事を生み出したりした事例も紹介されている。

そのうえで報告書は、企業側にメリットがあることを伝えるノウハウの重要性や、職場開拓の成果が出るミーティング法の普及などを提言した。「あなたにふさわしい職場開拓一わかりやすいカスタマイズ就労の参考事例と手引き」（リカバリーキャラバン隊、300円）。

（福祉新聞・第2810号 2017年5月15日）

「ノーマライゼーション 障害者の福祉」5月号・特集目次

＜特集＞旅に出かけよう―障害者の旅あれこれ

トラブルあつてのトラベル☆―だから楽しい（海老原宏美）

障害のある方の旅行参加推進に向けて―旅行業界の取り組み（田中穂積）

交通機関や宿泊施設の対応状況について（篠塚恭一）

視覚障害者のための夢の実現ツアー（淵山知弘）

耳が聞こえなくても旅はできる（片桐幸一）

食物アレルギー対応ツアーへの取り組み（鎌田直美）

海外の魅力（小林道代）

素敵な出会いはトラベルで！ トラブルで!?（大平啓朗）

「電動車いす部門・低床バス乗車継続日数」更新記録5千回を超えて伝えたいメッセージ（今福義明）

ろう者は世界で一番、旅上手（藤田康平）

旅行におけるトラブルを楽しむ!?（指田忠司）

心を解き放してくれる海外への旅（上原公子）

家族5人の笑顔で元気な旅（徳田愛香）

お知らせ

第5回全国介護・終末期リハ・ケア研究会研究大会 in 愛知

テーマ：介護・終末期リハ・ケアのたゆまぬ実践～支え支えられ～

会 期：2017年9月16日（土）17:30～18:30、9月17日（日）10:00～16:30

会 場：愛知大学名古屋キャンパス（愛知県名古屋市中村区平池町4-60-6）、東海市芸術劇場（愛知県東海市大田町下浜田137）

大会長：鈴木孝治（藤田保健衛生大学）

実行委員長：平野明日香（藤田保健衛生大学病院）

プログラム（予定）：〔9月16日〕イブニングセミナー：高井隆一（JR東海事故裁判の認知症者のご遺族の体験談）、〔9月17日〕開会式、一般演題、特別講演：竹内孝仁（国際医療福祉大学大学院）、

対談：竹内孝仁・大田仁史（茨城県立健康プラザ管理者）、〔進行〕鈴木孝治

参加費：〔16日〕イブニングセミナー：会員1,000円、非会員1,500円、学生500円、懇親会：4,000円、〔17日〕当日登録：会員5,000円、非会員6,000円、学生1,000円、事前登録：会員4,000円、非会員5,000円、学生1,000円

申し込み方法：ホームページ参照（<http://n-nerc.org>）

問い合わせ先：全国介護・終末期リハ・ケア研究会
〒470-3235 愛知県知多郡美浜町野間上川田45-2
医療法人瑞心会渡辺病院リハビリテーション科
担当：壹岐英正（E-mail: info@n-cerc.org）